



## 1 高速鉄道東京7号線の延伸促進

### 首都近郊の鉄道ネットワーク強化

- ・「浦和美園～岩槻地域」成長・発展プランを更に推進
- ・地域の魅力を創出し、定住人口・交流人口を増やす
- ・都市鉄道等利便増進法の適用を前提に早期の事業着手を目指す

**鉄道整備の推進のため、補助割合の拡大や許可要件の緩和を！**

平成26年度 交通政策審議会への諮問  
平成27年度 次期答申(予定)

**高速鉄道東京7号線の延伸について、交通政策審議会の次期答申の計画路線として位置付けを！**

東西交通大宮ルートも同様に位置付けを！



【浦和美園駅】



【埼玉スタジアム2002】



【岩槻駅】

## 2 新幹線の大宮駅始発の新設及び大宮駅機能の高度化等に向けた支援

### 大宮駅グランドセントラルステーション化構想の実現に向けて



【北陸新幹線】

新幹線5路線(東北・秋田・山形・上越・北陸)に加え、北海道新幹線が加わることで、東京駅～大宮駅間のダイヤがさらに集中

**新幹線大宮駅始発の新設による新幹線の増便を！**



【大宮駅】

- ・既設線の乗り換え改善によるシームレス化へ
- ・北海道新幹線開業による更なる利便性の向上へ

**大宮駅機能の更なる高度化等の実現への支援強化を！**

## 東日本中核都市構想の推進



## 3 新大宮上尾道路の整備促進及び首都高速埼玉新都心線の延伸

### 新大宮上尾道路 (圏央道までの北進)

#### 一般道路

さいたま市から圏央道桶川北本ICまで今年度中に開通予定(一部区間2車線供用)

**着実な延伸・接続を！**

#### 自動車専用道路

与野ジャンクション以北は都市計画決定済だが、詳細な整備計画は未定

**圏央道からのアクセス性向上のため早期事業化を！**

### 首都高速埼玉新都心線 (東北道までの東進)

核都市広域幹線道路の一区間である首都高速埼玉新都心線は、災害対策基本法上の指定地方行政機関が設置されている、さいたま新都心と東北自動車道とのアクセス性を高める重要な路線

**広域交通基盤の代替性・多重性の確保など、一層の防災力の強化を図るため延伸を！**



## 安心減災都市づくり

## 環境未来都市の実現

### 4 広域防災拠点都市づくりへの支援(1)～(3)

#### 緊急災害対策本部(官邸機能)の代替拠点

政府業務継続計画における  
緊急災害対策本部の代替拠点

- ①内閣府
- ②防衛省
- ③立川広域防災基地

- ◆さいたま新都心の地域特性
- ・都心部から約26km
  - ・災害対応のインフラが整備済
  - ・国の地方支分部局が集積
  - ・国の被害想定でも軽微な被害に留まる

**緊急災害対策本部の代替拠点としてさいたま新都心の明記を！**



【さいたま新都心周辺地域】

#### 災害応急部隊・緊急消防援助隊の集結へ向けて

さいたま新都心周辺における防災機能を持った都市公園と都市計画道路の一体の整備

- ・オープンスペースの創出
- ・アクセス性の向上
- ・TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の集結拠点に

市内において緊急消防援助隊の活動拠点機能に加えて、他機関との合同訓練にも活用できる施設の整備

- ・首都直下地震等における被災地への迅速な活動が可能
- ・平常時には大規模災害等に対応する合同訓練を実施

**国の災害応急部隊の集結拠点として位置付けを！**  
**オープンスペース及びその周辺整備事業に対し、国の積極的な支援を！**  
**大規模災害等対応訓練施設を確保するための支援を！**

### 5 スマートシティの実現に向けた総合的な取組の推進

#### 「スマートシティ・さいたまモデル」構築による国際モデルの実現

##### (仮称)アーバンデザインセンターみその (平成27年秋開設予定)

- ▶美園地区を「さいたま市の未来の縮図」として「スマートシティ・さいたまモデル」を実現
- ▶世界に通じる「スマートシティ・さいたまモデル」構築の核として、エネルギー分野だけではなく、様々な地域課題の解決、イノベーションを創出する「公民十学」連携による組織体を設置

低炭素パーソナルモビリティの社会実装

- ・街なかの環境負荷軽減
- ・誰もが手軽に、いつでも便利に利用可能な、社会交通システムの構築

共通プラットフォームさいたま版の構築

- ・特定のデバイスやメーカーに依存せず、データを収集・管理・活用を可能とする情報共通基盤の構築
- ・民間力を集結し、利用者の利便性を格段に高めるだけでなく、イノベーションによる新たな産業・サービスを創出

次世代エネルギーインフラの構築

- ・負担増を感じない省エネ
- ・エネルギーの地産地消
- ・水素エネルギーの活用
- ・再生エネの最大限導入
- ・エネルギーセキュリティ

国による財政支援・規制緩和・法整備

世界に通じる「スマートシティ・さいたまモデル」の実現  
～安心・安全・快適・便利で持続可能なまち～



国の成長戦略にもつなげる「さいたまイノベーション・エコシステム」の構築による継続的な新しいビジネス創出

製品単体ではなく、スマートシティをパッケージで海外展開

「安心・安全・快適・便利で持続可能」なまちが実現!

「さいたま市」でスマートシティの標準化が実現できれば、全国各地へ水平展開が可能に!

**本市のスマートシティの国際モデル構築に向けた取組に対し、財政支援や規制緩和の推進、法整備の実施を！**



## 6 グローバル化に対応した英語教育に対する支援

【国】グローバル化に対応した英語教育改革実施計画

### 小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業

- ・英語教育強化地域拠点事業
- ・外部専門機関と連携した英語指導力向上事業
- ・小学校3年生からの英語教育を開始(平成32年度～) など

国の「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を踏まえた  
**小学校早期からの英語教育の実施**

- ・教育特区による、小学5年生からの英会話(平成17年度～)
- ・モデル校(3校)にて小学校1年生からの英語教育(平成27年度～)
- ・全ての市立小学校で1年生からの英語教育(平成28年度～)



先進的な取組の推進により、  
全国のモデルケースに！

### 他自治体に先行した低学年からの新しい英語教育

- <小学校>  
国際感覚、英語による発信力などの基礎づくり
- <中学校>  
グローバル人材を育成する教育
- <高校>  
All Englishの授業が標準に
- <大学>  
英語によるプレゼン能力の育成
- <社会>  
国際社会で活躍する人材へ！

#### ◆指導内容の高度化への課題

- ✓ 英語専科教員の人材確保やALTの拡充
- ✓ 英語教育強化地域拠点事業への認定
- ✓ 英語教育の国による研修の充実

本市が先進的に取り組むグローバル化に対応した英語教育施策に対して、  
人材確保や英語教育強化地域拠点事業への認定等の財政支援を！

# 教育文化都市の実現

## 7 国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」の開催等に対する支援

平成27年8月～

アーティストによる滞在制作など、数事業の  
**プレイベント**を開催予定

\*プレイベント例

### ◆種は船プロジェクト

「朝顔の種の形をした船」  
さいたまの水路をたどりながら、人と人、地域と地域をつないでいくもの



種は船プロジェクト(TANeFUNe)  
写真:喜多直人(Naoto Kita)



SAITAMA  
TRIENNALE  
2016  
さいたまトリエンナーレ 2016

平成28年9月24日～12月11日(予定)

国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」を開催

### ◆開催テーマ

『未来の発見!』

### ◆目的

- (1)さいたま文化の創造・発信
- (2)さいたま文化を支える「人材」の育成
- (3)さいたま文化を活かした「まち」の活性化

「文化芸術都市さいたま市」の創造へ

「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」に係る事業として  
引き続き採択を！

## 8 県費負担教職員制度の権限移譲に伴う財政措置

需要

国負担	地方負担	県単費加配等	移譲経費
-----	------	--------	------

- ・個人住民税所得割2%の税源移譲
- ・財源不足は地方交付税等で措置

財源

国庫負担金	税源移譲	地方交付税	財源未措置	財源未措置
-------	------	-------	-------	-------

地方交付税等の措置が適切に行われなければ、教育水準を維持する上で必要となる財源が確保できない

38億円  
不足

権限移譲に伴う所要額や経費について適切な財政措置を！



## 9 外国人来訪者に対する熱中症予防等に関する広報

新規

# — 健幸都市づくり —

◆2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間(7月24日～9月6日)は、熱中症による救急搬送者の多い時期と重なっている

◆真夏の大会で日本の気候に慣れていない外国人来訪者が熱中症になる危険性が高い

熱中症を予防する取組

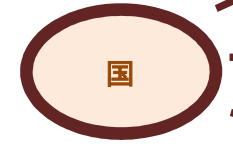
外国人来訪者が安心して全国各地に滞在できるような取組の実施

(本市提案)九都県市共同による今後の検討・取組

- ・多言語による熱中症予防啓発
  - ・効果的な予防啓発方法・情報発信方法
  - ・九都県市共通リーフレットの作成
- 等について検討

支援

連携



九都県市共同の取組との連携や支援とともに、国においても情報提供等の取組の実施を！

# — スポーツ観光都市づくり —

## 10 世界盆栽大会及び関連事業の開催に対する支援

世界的なブランドを目指す「大宮盆栽」



平成29年4月27日～4月30日  
「第8回世界盆栽大会inさいたま」開催  
世界に向けた日本のブランドイメージの促進に寄与

国の補助制度への採択など積極的な支援を！

◆大会会場内において盆栽即売所を設置予定  
＜懸念事項＞

- ・諸外国の検疫に対応するために、各盆栽園で栽培地検査をパスした盆栽を、即売所に移動して販売することが可能かどうか
- ・海外に持ち出す際の輸出検査に時間を要する

※第1回世界盆栽大会の会場内即売所では、大会期間中の検疫や輸出検査の取扱いへの配慮を実施

海外への盆栽文化の更なる普及促進のため、大会会場における検疫済み盆栽の販売や輸出検査の実施について、特例的な措置の検討を！

## 11 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の支援準備の強化

新規

事前キャンプの誘致による地域活性化・地域交流へ向けて



【琦玉スタジアム2002】

◆2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、本市においてサッカー及びバスケットボールの開催が決定  
◆事前キャンプの誘致実現には、過去の経験や既存のネットワークを活かして個別に取り組むしかないのが現状



【さいたまスーパーアリーナ】

地方自治体が提供できる施設やサービス情報

国による情報の集約とマッチング

各国・地域の関係省庁、関係団体がキャンプに求める情報

- ◆キャンプ誘致実現により・・・
- ・本市の魅力や優位性を国外に発信できる
  - ・間近で競技に触れることで、市民のスポーツへの関心が高まる
  - ・選手団とのかかわりにより、国際交流が推進できる

情報の集約とマッチングによる積極的な事前キャンプ誘致の支援を！